

ピンクシャツデー2019 in 神奈川 ～「いじめストップ!」ワールドアクション～

実施企画書

ちがう国籍。ちがう文化。ちがうファッション・・・。
ちがうことはあたりまえ。
ちがうことは大切な個性。
だからこそ、たがいを認め合う神奈川に。
共に生きる神奈川に。

◎ピンクシャツデーとは…

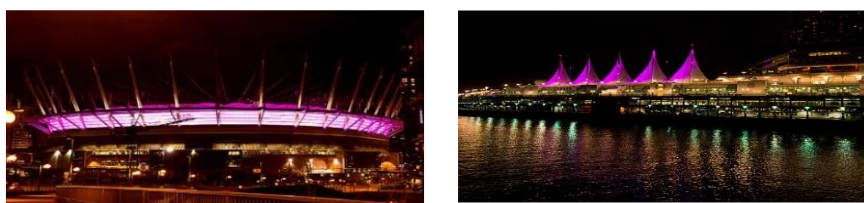
2008年、カナダの2人の高校生の行動から始まったいじめ防止の取り組みです。

ピンクのシャツを着て登校した男子生徒がからかわれ、いじめにあいました。2人の上級生が「ぼくらもピンクのシャツを着て、いじめストップを！」と提案。翌日呼びかけに賛同した生徒たちがピンクのシャツや小物を身に付けて登校しました。学校中がピンク色に染まり、いじめは自然となくなったそうです。このエピソードがカナダ全土に広がり、ブリティッシュ・コロンビア州知事は2月の最終水曜日を“ピンクシャツデー”と宣言しました。SNS等で世界中に広まり、今では70か国以上で様々な「いじめストップ！」に関する活動が行われています。

☆カナダでは消防士、プロスポーツ選手もピンクシャツデーに参加。



☆BC プレイスもカナダプレイスも、この夜はピンクに照明。



◎実施報告／ピンクシャツデー2018 in 神奈川

2017年11月に推進委員会が発足。2018年2月28日（水）横浜駅東口そごう前でメインイベントを開催。約2,000名の参加者が歌や演奏、朗読劇に聞き入る様子がテレビ神奈川のニュースやNHKニュースで放映されました。また、横浜市内各所がピンク色にライトアップされました。当日の様子はYouTubeでもご覧いただけます。

(<https://youtu.be/uzhT-wbOjas>)



八景島シーパラダイス



マリインタワー



コスモワールド



N.U.ライブ／キャンペーンソング「Link～出会えた奇跡にありがとう～」 「手をつなごう」を発表



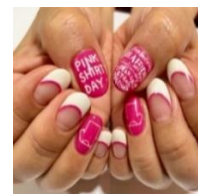
プロの声優による朗読劇『ハッピーバースデー』 やいじめ自死した中学生の遺書を紹介



横浜市立領家中学校吹奏楽部の演奏と生徒会によるいじめストップ！宣言



企業・団体・商業施設での取り組み



取り組みの概要

2月をピンクシャツデー月間とし、2月28日（水）にキャンペーンイベントを開催しました。

①メッセージツールの作製。

- ・チラシ（30,000枚）、ポスター（3,000枚）を作製し、公共の場へ配架。

- ・神奈川県内の小中高校（公立、私立）と特別支援校、教育機関等へ郵送。

②ピンクシャツデー取り組みへの理解と協力要請。

- ・協力・協賛に26の企業・団体と個人が、後援に32の企業・団体が応じてくださいました。（詳細は2018年度実施報告書記載）

③株式会社ダイイチ様よりピンクYシャツ、ピンクTシャツの協賛ご提供。

- ・Tシャツ500枚（277枚販売） Yシャツ300枚（62枚販売）

④キャンペーンイベント

- ◆日時：2018年2月28日（水）13時～18時

- ◆場所：新都市プラザ催事スペース（横浜駅東口そごう前広場）

◆内容：

- ・アコースティックデュオ N.U.によるコンサート
キャンペーンソング「Link～出会えた奇跡にありがとう～」 「手をつなごう」を発表。
- ・声優によるミニ朗読劇『ハッピーバースデー』（協力/オフィス・デュオ）
- ・NPO法人「ここから未来」・・・いじめ自死の中高生の11通の遺書を朗読。
- ・横浜市立領家中学校吹奏楽部&生徒会の演奏とメッセージ。
- ・神奈川県のキャラクター、かながわキンタローの着ぐるみパフォーマンス。
- ・パネル展・・・横浜市中学生人権作文入賞作品（いじめをテーマにした作品2点）やピンクシャツデー推進委員会へ寄せられた個人、団体、企業等の写真展示。
- ・当日の写真をフォトジャーナリスト長谷川美祈さんに撮影依頼。

⑤ピンクシャツデーナイト

- ・金沢シーパラダイス大水槽、横浜マリントワー、コスモワールド観覧車のライトアップ。

⑥YouTube動画の制作発信（公開中）。

- ・ <https://youtu.be/uzhT-wbOjas>
- ・参加者、団体のメッセージや映像等。
- ・N.U.よりキャンペーンソングの提供
「Link～出会えた奇跡にありがとう～」 「手をつなごう」

◎「ピンクシャツデー2019 in 神奈川」実施概要

I. 趣 旨

神奈川県内で、他の人の尊厳や命を踏みにじるような事件が相次いで起きています。

また、2017年度の県内の公立小中高と特別支援学校におけるいじめ認知件数は、19,997件と過去最多となっています。当委員会はピンクシャツデーアクションを通して、多様性を認め合う大切さを積極的に発信し、子どもや若者が生きる喜びと未来への希望を育める地域社会になることを目指します。

県や市町村、企業や団体、NPO、商業施設等が一体になってのアクションは、全国でも初めての試みとなります。ピンクシャツデーを定着させ、子どもたちの未来のために、繋がり、行動する本委員会の活動を神奈川モデルとして全国に広げていきます。

II. 取り組みの概要

1. 2019年2月をピンクシャツデー月間とし、2月27日（水）にキャンペーンイベントを開催します。本キャンペーンがしっかりと根付くまでは、昨年度同様の取り組みを実施するものとします。

(1) ピンクシャツデー月間 / ピンクシャツデーキャンペーンのPR活動

① 団体・企業等での取り組み協力依頼

- ・キャンペーンソングの流布、ポスターの貼付等。
- ・Tシャツ、Yシャツ、缶バッジ、ストラップの協賛購入。

② 県・市の取り組み協力依頼

- ・ピンクシャツデー・ポスター等の掲示。
- ・各自治体への広報等の協力。

③ メディアへの協力依頼

- ・新聞・テレビ・ラジオ等へ情報提供し、活動の趣旨を市民に広めていく。

④ メッセージツールの作製

- ・チラシ、ポスターを作製し、広く神奈川県内の公共の場へ貼付する。

⑤ ユーチューブ動画の制作発信

- ・参加者、団体のメッセージや映像等をつなぐ。
- ・SNS等を活用して拡散する。

(2) ピンクTシャツ等のチャリティ販売の実施。

① 株式会社ダイイチ様より協賛ご提供のピンクYシャツ、ピンクTシャツの販売を進め、活動資金とする。

② クラウドファンディングの活用

③ 缶バッジ、ストラップの制作・・・2018年イベントで横浜市教育委員会製作・提供の

缶バッジが、気軽に参加できるとして、大変好評だった。缶バッジを協賛寄付のひとつとし、全体の取り組みに入れる。併せてストラップを協賛販売とする。

(3) キャンペーンイベント

【イベント開催概要】

①みなとみらい・横浜ワールドポーターズでアクション

日時：2月3日（日） 13時／15時 2回ステージ

場所：横浜ワールドポーターズ2階

内容：●N.U. LIVE ステージ

*ピンクシャッター・テーマソング提供はアコースティックデュオ「N.U.」さん。ライブ&トークは昨年も大盛況！2019年も共に盛り上げてくださいます。

●ジェントルハートプロジェクト

*いじめ自死した中高生からのメッセージ等。



②横浜市の小学校でも初の開催！ ピンクシャッターイベント@白幡小学校

日時：2月13日（水） 9:40／10:45 2回開催

場所：横浜市立白幡小学校（神奈川区）体育館

内容：N.U. LIVE ステージ / いじめストップ！アクション

③横浜西口駅前広場でアクション！

日時：2月24日（日） 11時／14時 （2回ステージ）

場所：高島屋正面入り口前

内容：●人気声優陣によるミニ朗読劇『ハッピーバースデー』（協力/オフィス・デュオ）

●LIVE パフォーマンス（N.U. 東池袋52、横浜タカシマヤダンスユニット）

④ピンクシャッターファイナルイベント

日時：2月27日（水） 13時／15時（2回ステージ）

場所：新都市プラザ（そごう横浜店地下2階正面入口前）

内容：●N.U. LIVE ステージ

●ミニ朗読劇『ハッピーバースデー』（協力/オフィス・デュオ）

※虐待といじめを描いた原作は 150 万部のロングベストセラー。神奈川子ども未来ファンドが10年に亘り、朗読劇公演を県内各地で開催、好評を博した。

●ジェントルハートプロジェクトからのメッセージ

●横浜市立領家中学校吹奏楽部演奏&生徒会からのいじめストップ！宣言

●パネル展/中学生の人権作文、ピンクアイテムを身に着けた個人、団体、企業等の写真等。



⑥横浜マリントワー、みなとみらい観覧車、八景島シーパラダイスがピンク色にライトアップ。ピンクシャツデーのフィナーレとする。

Ⅲ. 組織概要

1. 推進主体／ピンクシャツデー2019神奈川推進委員会

○カナダ発祥のピンクシャツデーの主旨に賛同し、その活動を通して、互いの命と尊厳を守る地域社会となることを願い、ボランティアとして集まった組織・市民が構成する任意組織です。

ご挨拶／ピンクシャツデー2019 神奈川推進委員会代表

山崎美貴子



カナダの2人の高校生の行動をきっかけに、2008年に始まったいじめ防止の取り組みが、今では世界70か国以上に広がっています。2017年度の神奈川県内の小中高校と特別支援学校のいじめ認知件数は19,997件と過去最多となっています。多様性を認め、いじめをなくす姿勢を、キャンペーンを通して発信していきます。

Ⅳ. ご支援のお願い

1. 広く協賛・寄付を呼びかけます。

○子どもたちへ生きる希望を届ける本活動に関わる費用は、主旨を理解し、思いを共にする市民や団体・企業からの協賛金・寄付金に依るものとします。そして、ご協賛いただいた企業・団体等の名称は、イベントのパネルに掲載します。

2. 活動への参加を呼びかけます。

○市民や企業・団体の従業員、スタッフに、ピンクの小物やシャツ等を身に着けていただけよう呼びかけていきます。

○社内やお店、団体や家庭でピンクシャツを着用、あるいはピンクの小物、ピンクのルージュ、ピンクのマニキュア等をつけるなど、活動への参加を促します。また、各々の「ピンクシャツデー」の写真を送信していただき、エールの輪をつないでいきます。

3. その他、協力の方法

○ピンクシャツデー2019 神奈川推進委員会の活動へサポーターとして登録いただき、広報やイベント等でボランティアとして関わっていただきます。

○いじめや貧困・虐待等、子どもの抱える課題については、メディアの注目も集まっています。2018年度ピンクシャツデーキャンペーンの様子は、NHKを始め報道各社等の取材が入り、tvkニュースをはじめ、NHK全国ニュースでは8回にわたり紹介されました。今回のキャンペーンにおいても、神奈川から全国へと発信されるよう取り組んでいきます。取材要請があった場合は、対応していただけるようお願いいたします。

○物品協賛のピンクTシャツ、長袖ワイシャツ、缶バッチ、ストラップ等を認定NPO

法人神奈川子ども未来ファンド事務局にてチャリティ販売をします。

○ピンクシャツデーの取り組みに関する提案、意見を募り、活動に活かしていきます。

4. 事務局は神奈川子ども未来ファンドが担うこととします。

○認定 NPO 法人 神奈川子ども未来ファンド概要／子ども・若者の育ちや子育てを社会で支えるための非営利の市民基金。広く寄付を募り、神奈川県内で子育て・子育てを支援する NPO へ公募、選考を経て助成しています。2004 年から 2018 年までの 15 年間に、延べ 104 団体へ総額 3,550 万円の助成を行いました。また、子どもたちの現状をセミナーや朗読劇等で広く社会へ発信し、子どもたちが生きていることに誇りと喜びをもてる地域社会を目指して活動しています。

事務局／／認定 NPO 法人 神奈川子ども未来ファンド内

ピンクシャツデー推進委員会事務局

〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア内

TEL & FAX : 045-212-5825

E-mail : info@kodomofund.com URL : <https://www.kodomofund.com>.

ピンクシャツデー2019 in 神奈川～「いじめストップ！」ワールドアクション ～

主催／ピンクシャツデー2019 神奈川推進委員会

後援／神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市市民局、横浜市教育委員会、神奈川県人権擁護委員連合会、社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会、神奈川県弁護士会、公益社団法人神奈川県医師会、一般社団法人神奈川県歯科医師会、公益社団法人神奈川県病院協会、公益社団法人神奈川県看護協会、一般社団法人神奈川県経営者協会、一般社団法人神奈川県経済同友会、一般社団法人神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、神奈川県中小企業団体中央会、神奈川県生産性本部、公益社団法人横浜貿易協会、一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会、一般社団法人横浜青年会議所、連合神奈川、かながわ教職員組合連合、横浜市教職員組合、神奈川新聞社、毎日新聞横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、t v k、NHK 横浜放送局、FMヨコハマ

◎推進委員名簿／（2019.1.28 現在）

区 分	氏 名	所 属 等
特別顧問	黒岩 祐治	神奈川県知事
特別顧問	林 文子	横浜市長
特別顧問	桐生 秀昭	神奈川県議会議長
特別顧問	松本 研	横浜市会議長
特別顧問	桐谷 次郎	神奈川県教育長
特別顧問	鯉淵 信也	横浜市教育長
参 与	上野 孝	神奈川県商工会議所連合会会頭
代表推進委員	山崎美貴子	前神奈川県立保健福祉大学学長
副代表推進委員	山添 訓	(公財)横浜 YMCA 本部事務局長
//	吉富 多美	児童文学作家/神奈川子ども未来ファンド副理事長
特別推進委員	坂田 清一	神奈川県人権擁護委員連合会顧問
//	田口 努	(公財)横浜 YMCA 総主事
//	馬場 洋一	(認定特非)神奈川子ども未来ファンド理事長
推進委員	東 幾世	(株)テレビ神奈川取締役総務局長
//	申請中	(株)神奈川新聞社
//	加茂 大輔	神奈川県生産性本部事務局長
//	小林 正明	神奈川県生活協同組合連合会代表理事専務
//	坂井 雅幸	(認定特非)神奈川子ども未来ファンド副理事長/(公社)横浜貿易協会常務理事
//	鈴木 一男	(株)ダイイチ代表取締役会長
//	鈴木 伸哉	横浜高速鉄道(株)代表取締役社長
//	飛田 桂	神奈川県弁護士会所属弁護士
//	松森 繁	日本赤十字社神奈川県支部事務局長
//	安室 伸一	神奈川子ども未来ファンド理事/安室商事(株)代表取締役社長
//	北川 剛司	北川商事株式会社代表取締役社長
//	谷杉佐奈美	神奈川県ユニセフ協会事務局長
//	岩谷 伸一	学校法人 岩谷学園学園長
監事	大川 哲郎	(特非)横浜スタンダード推進協議会副理事長
//	工藤 誠一	神奈川県私学団体連合会会長
事 務 局	(認定特非)神奈川子ども未来ファンド	

認定 NPO 法人 神奈川子ども未来ファンド内 ピンクシャツデー推進委員会事務局

〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア内

TEL & FAX / 045 (212) 5825

E-mail : info@kodomofund.com

URL : <https://www.kodomofund.com>